

建築基準法第12条第5項の規定に基づく

工事監理報告書 (構造関係)

平成 年 月 日

(宛先) 板橋区建築主事

| | | | |
|-------|---------------------------|-----------------|-----|
| 工事監理者 | 事務所名 | 級建築士事務所 () 登録第 | 号 |
| | 所在地 | TEL | |
| | 資格・氏名 () 級建築士(大臣・知事) 登録第 | 号 | (印) |
| 工事施工者 | 施工者名 | 建設業の許可(一般・特定) 第 | 号 |
| | 所在地 | TEL | |
| | 氏名 | | (印) |
| 建築主 | 住所 | TEL | |
| | 氏名 | | (印) |

下記の建築物は建築基準法並びに、これに基づく政令及び条例の規定に適合した施工を行い、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告します。

| | | | | | | |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------------|--|----------|-----------------------|
| 工 事 名 | | | | | | |
| 建 築 場 所 | | 板橋区 | | | | |
| 確認年月日番号 | 平成 年 月 日 第 号 | 構造計算 ルート | ルートⅠ、ルートⅡ-1・2・3、ルートⅢ、その他 | | | |
| 工 事 概 要 | 構 造 | S・RC・SRC・WRC・W (在来・2×4・木パネ) | 工事種別 | 新築・増築・ | | |
| | 階 数 | 地上 階・地下 階・PH 階 | 最高の高さ | m 軒の高さ m | | |
| | 建築面積 | m ² | 延べ面積 | m ² | | |
| 確認通知後の 設計変更 (有・無) | 平成 年 月 日 第 号 | 内容 | | | | |
| | 平成 年 月 日 第 号 | 内容 | | | | |
| | 平成 年 月 日 第 号 | 内容 | | | | |
| コン ク リ ー ト | 普 礎 | Fc: 18. 21. 24. 27 | 基 | 支持地盤 | ローム、砂礫、 | 支持力 KN/m ² |
| | ～ | Fc: 18. 21. 24. 27 | | 直接基礎 | 独立・連続・べた | 液状化対策(有・無) |
| | ～ | Fc: 18. 21. 24. 27 | 杭基礎 | ・打ち込み杭 ・埋め込み杭(セメントミルク) RC、PC、PHC(A・B・C)、鋼管 ・場所打ちコンクリート杭 (拡頭、拡底、鋼管巻、アースドリル、 リバース、ベト、BH、深礎) ・異形摩擦杭 ・認定/評定工法() ・認定・評定 年 月 日 第 号 | | |
| | ～ | Fc: 18. 21. 24. 27 | | | | |
| | 軽 量 | LFc: 15. 18. 21 比重 | | | | |
| P. Ca. | Fc: N/mm ² | 杭 | Fc: N/mm ² | | | |
| 鋼 材 | 鉄筋 | SR. 235, 295 | ガス圧接(有・無) (D ～) | | | |
| | | SD. 295(A・B), 345 | 特殊継手(有・無) | | | |
| | 形鋼 | SS. 400, 490 | BCP 235・325 | 特 殊 材 料 ・ 構 法 等 大臣認定 平成 年 月 日 第 号 (認定内容) | | |
| | | SM. 400(A・B), 490(A・B) | BCR 295 | | | |
| | | SN. 400(A・B・C) 490(B・C) | その他 (TMCP ・FR) | | | |
| | 鋼板 | STKR. 400, 490 | 建築センター評定 平成 年 月 日 BCJ- (評定内容) | | | |
| P. C. | | | | | | |
| 鋼線 | 導入コンクリート強度 | | 建築センター評価 平成 年 月 日 BCJ- (評価内容) | | | |
| 鋼棒 | Fc: N/mm ² | | | | | |

記入上の注意◎ 提出及び記入は、原則として工事監理者によること。

- ※1 監理者総合所見欄は、監理目標とその結果に対する所見を具体的に記入すること。
- ※2 工事監理組織の欄は、工事の監理体制を具体的に記入すること。
- ※3 指摘事項と是正内容の欄は、工事監理者が検査を行い、指摘した事項とその是正内容を記入すること。

そ の 他 ● 施工写真、施工記録、データ(ミルシート、各種試験結果報告書等)を添付すること。
● 鉄骨工事を伴う場合は、鉄骨工事報告書を添付すること。
● その他、建築主事が指定した書類等を添付すること。

| 検査・確認事項を○で囲むこと | 1 設計支持地盤を確認した。(層) 2 基礎杭の品質、位置(偏心距離)、径、長さ、本数、及び支持力を確認した。 3 基礎の形状、配筋の本数及び配置を確認した。 4 柱・梁の形状、主筋径、本数及び配置を確認した。 5 帯筋、あばら筋の形状、鉄筋径、本数及び間隔を確認した。(副帯筋、副あばら筋を含む。) 6 柱・梁の主筋の定着、継手及び位置を確認した。(ガス圧接、特殊継手、) 7 壁主筋の径、間隔、定着、継手及び位置を確認した。 8 床板及び階段の厚さ、主筋径、方向、間隔、定着、継手及び位置を確認した。 9 構造スリットの位置及び形状を確認した。 10 設備配管等の位置を適正に行ったことを確認した。 11 梁、床、壁の貫通箇所的位置及び補強を確認した。 12 型枠寸法並びにかぶり厚さを確認した。 13 打設後の養生(型枠のせき板、支柱の取りはずし等)を適正に行ったことを確認した。 14 プレキャスト・コンクリートの品質、強度を確認した。 15 プレキャスト・コンクリートの接合方法等を確認した。 16 エキスパンション・ジョイントの位置及び間隔等を確認した。 17 コンクリートブロックの種別(A・B・C)及びブロックの厚さを確認した。 18 コンクリートブロック壁のタテ筋、ヨコ筋、端部筋の本数、定着及び継手を確認した。 19 使用するコンクリートの受け入れ検査を行い、所要のワーカビリティ、強度、その他の性能が得られたことを確認した。 20 下記の品質、強度を以下の方法により検査、確認した。 コンクリート [現場水中養生した供試体の四週圧縮強度試験、] [塩分測定、] 鉄 筋 [ミルシート、引張試験] 鋼 材 [ミルシート、引張試験] ガス圧接 [引張試験、非破壊検査、] 杭 [] 21 木造軸組、小屋伏、床伏の確認をした。 22 接合部の確認をした。 23 その他 | | | | |
|-----------------------|---|------|--------------|--------------|--------------|
| | 検査箇所 | 検査月日 | ※3 指摘事項(要写真) | 是正月日 | ※3 是正内容(要写真) |
| | | | | | |
| | ※1 監理者総合所見 | | | ※2 工事監理組織 | |